



[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2004年4月

〒107 0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

財団法人日本太鼓連盟 理事長 塩見 和子

Tel.03 6229 5577 Fax.03 6229 5580

URL:http://www.nippon-taiko.or.jp Email:info@nippon-taiko.or.jp

会報

華太鼓かんなの会「ふじ組」(宮崎県)が日本一に

～総務大臣杯・文部科学大臣奨励賞第6回日本太鼓ジュニアコンクールを開催～



(開会式)

(財)日本太鼓連盟主催、(財)日本太鼓連盟岐阜県支部主管による総務大臣杯・文部科学大臣奨励賞第6回日本太鼓ジュニアコンクールを3月21日(日)岐阜県羽島市・羽島市文化センターにおいて開催いたしました。全国32都道府県(276チーム3,366名)から選抜された38団体477名(平均年齢13.4才 最年少6才)が出場し、その腕を競いました。開会式は、優勝旗を持った前年度優勝チーム信濃国松川響岳太鼓子供会(長野県)を中央に出場全38チームがステージに整列して行われました。国歌斉唱に続き、(財)日本太鼓連盟塩見理事長、(財)日本太鼓連盟岐阜県支部桜井支部長が挨拶、来賓を代表し、吉田羽島市長よりご祝辞を頂きました。続いて、前年度優勝チームの信濃国松川響岳太鼓子供会より優勝旗、優勝杯が返還され、チームには副賞として優勝杯レプリカと太鼓一鼓(1尺6寸)が贈呈されました。

群馬県代表上州榛東ふるさと太鼓の小山真弥君しんやが出場者を代表して「日本太鼓を通じて友情を深め、最後まで力一杯演奏することを誓います」と力強い選手宣誓を行い、当財団小口副会長による「初っ切り太鼓」を皮切りにコンクールは始まりました。

当日は晴天に恵まれ、大会を一目見ようと全国各地から訪れた観客で1,300席は満席となり、演奏前から熱気が漂っていました。中には当日券を求めて朝

4時から並ぶ方もいるほどでした。郷土を代表して各チームとも素晴らしい演奏を披露し、場内からは出場者たちのはつらつとしたバチさばきに大きな拍手と歓声を送られていました。昨年にも増して全体的に技術レベルが向上し、激戦となりました。

閉会式では、浜田審査委員、続いて塩見審査委員長より講評がありました。続いて審査結果が発表され、今回で2度目の出場となる華太鼓かんなの会「ふじ組」(宮崎県)が総務大臣杯の栄冠に輝きました。優勝チームは6歳(最年少)の子ども3名を含む12名の編成で、その演奏は練習成果が充分に発揮され、年少でありながら大人顔負けのバチさばきと、地域の伝統を取り入れた構成は素晴らしいものでした。場内からは、一際大きな拍手が送られていました。

前回から設けられた文部科学大臣奨励賞は、第2位の天城連峰太鼓(静岡県)が同時受賞となりました。

また、翌22日(月)には特別講習会が行われました。これは、ジュニアコンクール出場団体の更なる技術向上を目指し実施したものです。希望のあった金光藤蔭高等学校和太鼓部「鼓響」(大阪府)、播州新宮越部太鼓(兵庫県)の2チームが古屋技術委員長から基本を中心とした厳しい指導を受けました。また、両チームの指導者も特別講習会に参加し、今後の指導に活かしていきたいとの感想がありました。

本コンクールにおいて、お忙しいなか厳正な審査をして頂いた審査員の先生方、審査の間、観客を魅了する演奏を披露して頂いた特別出演チームの方々、また全国より応援に来て下さった父兄の皆様、そして本コンクールの開催にご協力頂きました180名におよぶ岐阜県支部スタッフの皆様にご心より感謝とお礼を申し上げます。

*なお、次回の第7回大会は、2005年3月20日(日)に神奈川県横浜市(神奈川県民文化ホール)において開催を予定しています。

「そして笑った華吹雪」

宮崎県代表 華太鼓かんなの会「ふじ組」
代表 岡田 昭子

私の職業は華道教授です。稽古事の参考書ともいわれている世阿弥の「風姿花伝」の中では、花を目に見えるものと見えない精神のものとの両面から捉えているそうです。(五十六世梅若六郎著「まことの花」より) 今回の曲「華吹雪」については、延岡市の中心に位置する城山に行き朝な夜なに人の力で鳴らしている鐘の音を聞き桜を見ました。四百年続いているというその音色は眼下に広がる町並みに深く静かに響き渡り、桜のつぼみも春浅き日に見上げる子ども達の目に震えているようでした。桜の花は最後の花が開いて初めて一斉に散り始めるそうです。華太鼓の座右の銘、言葉はなくとも自ずと心が伝わるという「拈華微笑(ねんげみしょう) = 以心伝心」にも通じます。課題曲の「明眸」はBoys be ambitiousとも解釈できそれぞれの子ども達の輝かしい未来を想定し仕上げました。

「太鼓は音楽ですよ」と教えて下さった浅野太鼓店の社長さん、日本総合音楽研究の末永先生、赤嶺先生に心より感謝申し上げますと共に大会の終わりに塩見理事長さんが子ども達に下さった言葉「あなた方は今から沢山の褒め言葉をいただくでしょう。誉められた分だけ沢山の人のあなた方も誉めてあげて下さい。」これぞ「風姿花伝」と思いました。

大会関係の皆様、細やかな要求にも快く応じ逆に励まして下さった会場のスタッフの皆様大変なご苦労だったでしょう。有難うございました。これからも心を磨き真摯に太鼓に取り組んでいきます。

「全国一になって」 リーダー 下野 彰子 (15歳)

私は華太鼓リーダーの下野彰子です。3月にあった全国大会で、私達華太鼓は優勝することができました。これも小さい子の頑張りや、みんなが一つになれたことが大きな理由だと思います。私はリーダーでみんなをまとめていかないといけないのに、受験で練習を休むこともあり、とてもみんなに迷惑をかけていました。その間小さい子達は土日のハードな練習を文句一つ言わず、とても頑張っていたことが私にはすぐ分かりました。久々に見た小さい子達はとても上達していたからです。

本番では今までの中で最高の演奏ができました。音だけではなく心も一つになれたと強く感じました。



(優勝した華太鼓かんなの会「ふじ組」)

練習では、ぶつかることもありましたが、全国大会入賞という一つの目標に向かって厳しい練習をこなしていく中でみんながまとまることができたと思います。この大会でチームワークの大切さを学ぶことができました。私にとって日本太鼓とは、趣味であり、特技であり、夢でもあり、そしてかけがえの無い存在なのです。太鼓以外に大切な事を教えて下さる先生方に感謝しています。ありがとうございました。これからも夢に向かって努力します。

「全国大会に向かって」副リーダー 村田 芳乃 (14歳)

「優勝は…宮崎県華太鼓ふじ組」舞台の上の私達は信じられなくて、お互いに「誰じゃろ」と言い合いました。昨年は初出場で特別賞を頂いたので、今年は上位入賞という目標はあったのですがまさか優勝とは、表彰式の間もボーっとした気持ちでした。

演奏中は「楽しい」という気持ちで打っていたので予定時間より短いという点以外では自分では満足していました。地方大会からここまでの道のりはやはり大変でした。

手の皮が破れたり血豆がつぶれても弱音を吐かなかったのは、太鼓が大好きという幼稚園から小学生のメンバー同士の兄弟姉妹のような交流が、私を支えてくれたからだと思います。

北浦から練習場まで40分、週三回、土日は午前10時から午後4時までという厳しい練習に耐えてこられたのは、家族や地域のみなさんの応援のお蔭だと現在改めて思います。

「最高の大会」 副リーダー 神崎 悠衣 (13歳)

私達は全国大会へ向けてきつい練習を頑張ってきました。自分の直さないといけないところをしっかりとやって、同じパートの人達でお互いの打ち方を見て注意を貰ったりもしてきました。なかなか思うようにいかない時もあったけれど頑張って練習しました。そして大会当日。本番前にはみんなが集まって声を出したりしながら最終確認をしました。私の目標は「みんなで心一つにして今までやってきた練習の成果を出しきること」でした。舞台に立つと頭の中が真っ白になりました。けれど一つ一つしっかり思い出しながら思いっきりたくことができ、今までの中で最高の演奏ができました。とても気持ちよかったです。そして待ちに待った結果発表です。今回私達は精一杯演奏することができたので賞が獲れなくてもいいと思いました。特別賞があと一つとなっても呼ばれなかったのも、これで賞は逃したなと思いつめてしまいました。まして優勝などは絶対無理と思っていました。優勝発表の時に「華太鼓かんなの会ふじ組」と呼ばれ、すごくびっくりして夢かと思いました。本当に嬉しかったです。これから東京などの様々な所でイベントがあります。それに向けての練習がまた始まります。沢山の舞台上で最高の演奏ができるようにみんなで頑張って練習していきます。そして応援してくれた色々な方に感謝し、最高にいい演奏でお返しをしていきたいです。



(文部科学大臣奨励賞に輝いた天城連峰太鼓)

翌日の特別講習会に参加した金光藤蔭高等学校和太鼓部「鼓響」(大阪府)主将 秋山峰史君(18歳)より感想文を頂きました。

私たち「鼓響」は、昨年に引続き二年連続で大分府代表として出場することが出来ました。大阪府代表に決まったと聞いた時、部員全員が大喜びしました。そして今年こそ入賞するために、今まで以上に練習に励もうと心に決めました。

少しでも多く太鼓を叩いて技術を高め、自信を持てるように、毎日夜遅くまでこの曲を練習しました。そして迎えたりハーサル。自分達の前のチームの演奏を袖から見た時、私たちはその演奏に見入ってしまいました。全国はなんてレベルが高いんだ、こんなチームに自分達はかなうのだろうかかと不安になり、自信がなくなってしまいました。そして自分達の出番がやってきました。極度の緊張と不安の中迎えたりハーサルは、今までで一番下手でした。その日、顧問の先生がこう言いました。「君たちは他のチームが持っていないものを持っている。それは力強さだ。幼い子達は持っていない、高校生の君たちだからこそ持っているものなんだ。それを本番で出して大会を思い切り楽しんでこい」と。私たちはその言葉を聞いて自信を取戻しました。そして本番の日。開会式が終わり控え室に戻って周りを見回すと、自分たちだけでなく他のチームもとても緊張しているのがわかりました。そして演奏が終わり、泣きながら控え室に戻ってくるチームがいくつもありました。私はこれを見て、絶対に後悔しないよう、思いっきり楽しみながら全力で自分のすべてを出し切ると心に決めました。

そして自分達の演奏が終わった時、些細なミスはあったけれど、全力で演奏したのでとても清々しい気分になれる、全然後悔しませんでした。太鼓を全力で叩くことは素晴らしいことだと本当に実感しました。次の日、私たちは講習会に参加させて頂きました。講習会では普段私たちがあまりしていなかった基本練習をしました。構え方や撥の握り方などを一から教えて頂きました。自分達がどれだけ基本が出来ていなかったのかがよくわかり、とてもいい経験になりました。これからはもっと基本を重視して練習していきたいと思えます。

全国大会に大阪府代表として出場し、私たちは全力で叩くことの素晴らしさや基本の重要性など色々なことを学べたと思えます。私たちにこの全国大会はとてもいい経験になったと思えます。

入賞チーム

- 優勝 総務大臣杯
華太鼓かんなの会「ふじ組」(宮崎県)
- 第2位 文部科学大臣奨励賞
天城連峰太鼓(静岡県)
- 第3位 ゆふいん源流少年隊(大分県)
- 第4位 輪島・和太鼓虎之介(石川県)
- 第5位 岡谷太鼓保存会「優心會」(長野県)
- －特別賞－
- 岐阜県教育委員会賞
人吉ねぶか太鼓(熊本県)
- 岐阜県議会議長賞
夕張太鼓保存会「竜花」(北海道)
- 羽島市長賞
龍連山太鼓道場「纏組」(山形県)
- 羽島市教育長賞
みのり太鼓(茨城県)
- 羽島市議会賞
北見オホーツク太鼓「青虎天真」(北海道)
- 岐阜県商工会連合会賞
越中いさみ太鼓保存会(富山県)
- (社)岐阜県観光連盟会長賞
利府太鼓(宮城県)
- 羽島商工会議所会頭賞
刈和野大綱太鼓(秋田県)
- 羽島市観光協会賞
秦野市観光和太鼓(神奈川県)
- 羽島市文化協会賞
上石津もんでこ太鼓保存会少年部(岐阜県)

審査委員

- 池田 庄作 財団副会長
岡田 知之 洗足学園音楽大学教授
小口 大八 財団副会長
塩見 和子 審査委員長・財団理事長
西角井正大 日本大学大学院芸術学 研究科講師
浜田麻記子 (株)P.R.D.会長
古屋 邦夫 財団技術委員会委員長

(五十音順・敬称略)

特別出演

- 信濃国松川響岳太鼓子供会 (長野県)
(前年度優勝チーム)
- 美濃の国 羽島太鼓 (岐阜県)
- 中山太鼓保存会 (岐阜県)

<テレビ・新聞で広く紹介>

コンクールの模様が当日岐阜放送で生中継されました。さらに、同放送で2月25日に特集として地元チームの練習風景が、また、岐阜新聞、中日新聞などに大会の様子が掲載されました。



(岐阜放送)

長崎、島根で講習会、更新研修会を開催

<第19回日本太鼓全国講習会> (長崎)

2月14・15日の両日、第19回日本太鼓全国講習会が全九州太鼓連合、長崎県支部が主管となりシーハット大村において行われました。講習会には地元長崎県をはじめ、全国22都道府県から215名の受講者が参加しました。開講式は、主管団体を代表して長崎県支部山下支部長による開会の辞から始まり、財団を代表して塩見理事長、全九州太鼓連合長谷川会長がそれぞれ挨拶、松本崇大村市長より歓迎の言葉がありました。

午後からは、一流の講師による充実した指導が行なわれ、受講生たちは真剣な眼差しで太鼓に向かっていました。翌日の成果発表では3つの専門講座で技術を習得した受講生による演奏が行なわれ、緊張しながらもその上達ぶりを披露しました。

○専門講座

御諏訪太鼓講座	講師	小口 大八氏
大太鼓講座	講師	渡辺 洋一氏
縮太鼓講座	講師	長谷川 義氏

○基本講座

総合指導	講師	古屋 邦夫氏
3級基本講座	講師	安江 信寿氏
4級基本講座	講師	若山 雷門氏
5級基本講座	講師	松枝 明美氏
	講師	松元 和敏氏

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

1級検定	17名受検	14名合格 (3名認定)
2級検定	35名受検	27名合格 (12名認定)
3級検定	26名受検	23名認定
4級検定	27名受検	24名認定
5級検定	65名受検	65名認定



(縮太鼓講座)

第2期公認指導員更新研修会を長崎でも開催
公認指導員のための今期最後の更新研修会が第19回日本太鼓全国講習会に併せて行なわれ、九州をはじめ全国から36名の公認指導員が参加しました。

参加した公認指導員の皆さんは、指導者の心構えや指導方法のあり方の重要性について再認識されていました。また、全国から参加した仲間と情報交換する姿も多く見受けられました。

○研修内容

指導者としての心構え	(講師 小口大八氏)
基本打法の指導法	(講師 古屋邦夫氏)
	(講師 景山道隆氏)
太鼓界の現状と今後	(講師 小野巽常務理事)
太鼓について	(講師 茂木仁史氏)

<第18回日本太鼓支部講習会> (島根)

3月27・28日の両日、第18回日本太鼓支部講習会が島根県支部主催により、国立三瓶青年の家において行なわれました。

講座は4・5級基本講座が設けられ46名の受講生が参加しました。

○基本講座

4級基本講座	講師	古屋邦夫氏
5級基本講座	講師	景山道隆氏
	講師	松枝明美氏

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

4級検定	22名受検	22名認定
5級検定	20名受検	20名認定

資格取得者が3,299名に

2004年4月現在の公認指導員・技術認定員数は以下のとおりです。

<公認指導員>

特別2名、1級22名、2級54名、
3級109名 総数187名

<技術認定員>

1級35名、2級85名、3級362名、
4級610名、5級2,031名 総数3,123名

第19回日本太鼓支部講習会 (長野県) の案内

期 日：2004年5月29日 (土) 5月30日 (日) 会 場：諏訪市文化センター

講 座：3・4・5級基本講座

申込先：(財)日本太鼓連盟長野県支部事務局 担 当：古屋 邦夫 Tel.0266-23-6146 Fax.0266-23-8832

日本太鼓と学校教育— 17

(財)日本太鼓連盟北海道道南支部長、鯨神太鼓代表太田義高氏の体験から感じられた日本太鼓が子どもへ与える影響について寄稿いただきましたのでご紹介します。

「子ども達に夢と希望を与える日本太鼓」

鯨神太鼓代表 太田 義高

私たちが住む室蘭という町は北海道の南側に面した人口10万足らずの町ですが、平成10年には東日本最大の吊橋「白鳥大橋」が完成しサークル都市へと変化しました。この時の記念イベントとして日本太鼓世界一の合同演奏「白鳥大橋千人太鼓」が企画されたのです。この一大イベントには5年間という長い年月を掛け立向かったプロジェクトでしたが、その甲斐あって当日は131チーム1,850人という目標をはるかに超えた太鼓衆と1,845張りの日本太鼓が、室蘭陸上競技場の芝生の上に並んだのです。そして、この時の演奏曲「山彦」と「北のにぎわい」は世界一の合同演奏曲として今なお更新されていないのです。

この時、参加した小中学生は約1,100人、約6割が小中学生でありましたが、このイベントに掛ける私たち実行委員会の目的は二つあったのです。一つは北海道の太鼓衆が町や村を越え、一つになり世界の記録を超えるような演奏をすること。もう一つは子ども達に「夢は叶うものだ」と教えてあげることでした。そしてこの目的は達成することが出来たのです。しかし、残念なことに学校として参加したチームは3チームに過ぎなかったのです。この数字を見て私は学校教育の中で日本太鼓が遅れていることを改めて知らされたのです。

心の豊さを求められている現在、社会教育や地元文化として日本太鼓は引き継がれているものの、学校教育としてはまだまだであると思います。現在私は小学校や高校の子ども達へ、学芸会やブラスバンドの定期演奏会等のため、変則な練習ではありますが日本太鼓の指導をさせていただいています。

年齢によって習得力は異なっていますが、子ども達の太鼓に向かう目がみんな輝いている事に気がつくのです。「不便」な事が少なすぎる現代、いや「便利」な事が多すぎて、人間本来の大切なものをいつの間にか失っている現在社会。その中で日本太鼓が子ども達に与える様々な影響は大きいものがあると思うのです。

しかし、学校教育の場で子ども達が日本太鼓に触れることは決して多くはないと思います。それは何よりも指導者が少ないことや、太鼓自体高価な楽器であることもあげられましょう。

「日本太鼓には不思議な力がある」「気持ちがつすっきりしました」「子供の心に戻った気分・・・」この言葉は昨年室蘭市内の教職員を対象に室蘭登別太鼓連盟が開催した日本太鼓講習会の感想です。音楽を受持つ教職員が自主的に「日本太鼓に触れたい」そう言って始まった講習会でありました。

今年9月、財団の助成を得て当支部として初めての試みである道南地区を対象とした「教職員太鼓研修会」を開催する予定であります。教壇に立つ多くの方々が日本太鼓という日本古来の打楽器を習得し、未来ある大勢の子ども達に日本太鼓と出会うチャンスを与えて欲しいと望んで止みません。

私は太鼓の他に少林寺拳法を25年あまり指導させていただいていますが、その中でいつも感じていることがあります。それは今の子ども達には「三つの間(ま)」が少ないということです。一つ目は「時間」、子ども達は一日中時間に追われて生きているように思えてなりません。二つ目は「空間」、私たちが子どものとき山や海で暗くなるまで遊んでいたそんな空間が少なくなったように思えます。

そして、最後はやはり「仲間」です。核家族の中で一人遊びが上手になったというか集団で遊ぶことが苦手になった子ども達、本当に仲間が少ないように見えるのです。

このように子ども達を取り巻く環境は何処かおかしくなって来ている中、日本太鼓のもつ力は非常に大きいと感じています。私はいつも「挑戦者にしかチャンスは来ない」と思っております。

私たち大人が太鼓をとおして夢と希望を持ち、光り輝き生きていく姿こそが子ども達への素晴らしい贈物であると感じるのです。



白鳥大橋開通記念イベント千人太鼓 (1,850人)
写真/北海道新聞社提供

2004年度に向けて各種会議を開催

～理事会・評議員会・運営委員会・技術委員会～

<理事会・評議員会>

第13回理事会並びに第12回評議員会が3月5日(金)に開催され、次の事項が審議、承認されました。

「2004年度事業計画及び収支予算について」

尚、理事会で新たに評議員に選出されました、浜田麻記子、吉田博一両氏が初めて評議員会に出席されました。

<技術委員会>

第16回技術委員会が1月15日(木)に開催され、次の事項が審議、承認されました。

1. 日本太鼓資格認定制度について

①公認指導員第2期更新研修会の出席状況並びに欠席者等に対する対応を審議した。

②公認指導員の昇級並びに認定について

支部から推薦のあった堀江利彰氏(大分県)・上原徳夫氏(群馬県)がそれぞれ3級公認指導員に認定された。

2. 2003年度事業について

2003年度事業は、資料を基に報告し承認された。

3. 2004年度事業について

2004年度事業は、資料を基に原案を説明し、承認された。

<運営委員会>

第19回運営委員会が1月16日(金)に開催され、次の事項が審議、承認されました。

1. 2004年度事業について

2004年度事業は、資料を基に原案が説明され承認された。また、助成金交付事業の申請内容を検討し、助成事業を決定した。詳細は7ページ参照。

2. 2003年度事業の実施状況並びに実施予定について

①第6回日本太鼓ジュニアコンクールについて

・予選を実施した28支部の代表ならびに推薦等の出場チーム38団体について説明を行った。

・運営委員により厳正な抽選を行い出場順番を決定した。

・審査委員候補者を選考し決定した。

・大会翌日の特別講習会も、これまでと同様に実施することとした。

②日本太鼓講習会・日本太鼓資格認定事業について

・第19回全国講習会(長崎)並びに第18回支部講習会(島根)の実施予定を説明し、了承された。

・第2期公認指導員更新研修会の実施状況並びに欠席者等に対する対応について技術委員会の審議結果が報告され、了承された。

公認指導員の資格喪失について

今期最終回となる第3回目の第2期公認指導員研修会が、長崎県大村市で2004年2月14日(土)15日(日)に実施されました。3回にわたるこの更新研修会の対象人数は、公認指導員199名(1級23名、2級62名、3級114名)で、更新研修会に参加されなかった方は30名でした。欠席者に対する措置は次のとおりです。

○資格喪失者(更新辞退等) 8名

- ・2級公認指導員 2名 2-15佐々木清(岩手)、 2-59清島建生(熊本)
- ・3級公認指導員 6名 3-52吉田桃媛(福島)、 3-92上杉明(宮崎)、 3-94桑畑成宏(宮崎)、
3-101富永希一(大分)、 3-103廣田紀昭(栃木)、 3-106川俣 弘子(栃木)

○資格降格者(欠席者) 17名

- ・1級公認指導員から2級公認指導員へ 2名
1-16小林正道(東京)、 1-26塚原茂夫(北海道)
- ・2級公認指導員から3級公認指導員へ 6名
2-06服部勝利(岐阜)、 2-18麻生信夫(埼玉)、 2-24和田正人(岐阜)、
2-36木越治(石川)、 2-37北村吉則(石川)、 2-38釜口治一(石川)
- ・3級公認指導員から1級技術認定員へ 9名
3-07後藤義雄(群馬)、 3-09五十嵐彰一(群馬)、 3-29寺田禎(島根)、
3-69得能宏(石川)、 3-70楠久雄(石川)、 3-71黒坂藤明(石川)、
3-72小西喜興志(石川)、 3-73東忠次(石川)、 3-124太田真紀子(秋田)

○資格停止者(病欠) 5名

- ・2級公認指導員 2名 2-30清原昭子(埼玉)、 2-45坂田憲章(富山)
- ・3級公認指導員 3名 3-21宮入貞嘉(長野)、 3-34小山芳信(岩手)、 3-105鈴木菊男(栃木)

*2003年度において2名の2級公認指導員が病気のためご逝去されました。生前のご活躍に敬意を表し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

2-08河野 忠幸氏(千葉・房州太鼓)、2-53八木 忠次氏(佐賀・葉隠太鼓保存会)

2004年度日本太鼓助成金交付事業決定のお知らせ

運営委員会において審議の結果、下記の27事業が承認され、決定いたしました。決定された事業には事業報告書受理後、助成金20万円が交付されます。

<一般事業>

日本太鼓ジュニアコンクール北海道道南支部予選	(北海道道南支部)	4月25日(日)	
日本太鼓ジュニアコンクール兵庫県大会	(兵庫県支部)	8月24日(火)	兵庫県新宮町
日本太鼓ジュニアコンクール岩手県大会	(岩手県支部)	8月29日(日)	岩手県盛岡市
男鹿市制50周年協賛東北太鼓フェスティバル	(秋田県支部)	9月18日(土)	秋田県男鹿市
第4回京都府太鼓フェスティバル	(京都府支部)	9月～11月	京都府加茂町
第4回長野県障害者親睦交流太鼓フォーラム	(長野県支部)	10月2日(土)	長野県松本市
第5回野州路を行く	(栃木県支部)	10月17日(日)	栃木県今市市
日本太鼓支部講習会	(佐賀県支部)	10月23日・24日	佐賀県佐賀市
日本太鼓ジュニアコンクール宮城県大会兼第2回和太鼓ジュニアフェスティバル	(宮城県支部)	11月6日(土)	宮城県鳴子町
日本太鼓ジュニアコンクール北海道道西大会	(北海道道西支部)	11月7日(日)	場所未定
第1回茨城太鼓祭兼ジュニアコンクール茨城県大会	(茨城県支部)	11月14日(日)	茨城県下館市
日本太鼓ジュニアコンクール富山県大会	(富山県支部)	11月21日(日)	富山県砺波市
日本太鼓ジュニアコンクール島根県大会	(島根県支部)	11月21日(日)	場所未定
日本太鼓ジュニアコンクール福岡県大会	(福岡県支部)	11月21日(日)	福岡県須恵町
日本太鼓ジュニアコンクール石川県大会	(石川県支部)	11月28日(日)	石川県金沢市
日本太鼓支部講習会	(山形県支部)	1月22日・23日	山形県酒田市
かながわの太鼓	(神奈川県支部)	1月23日(日)	神奈川県横浜市
第3回ふくしまジュニア太鼓フェスティバル	(福島県支部)	2月27日(日)	福島県郡山市
日本太鼓支部講習会	(北海道道央支部)	日程、場所未定	

<教職員太鼓研修会>

長野県教職員太鼓研修会	(長野県支部)	6月27日(日)	長野県岡谷市
群馬県教職員太鼓研修会	(群馬県支部)	7月31日(土)	群馬県伊勢崎市
千葉県教職員太鼓研修会	(千葉県支部)	8月1日(日)	千葉県九十九里町
栃木県教職員太鼓研修会	(栃木県支部)	8月8日(日)	栃木県宇都宮市
島根県教職員太鼓研修会	(島根県支部)	8月24日(火)	島根県三刀屋町
北海道道南教職員太鼓研修会	(北海道道南支部)	9月20日(祝・月)	北海道室蘭市
静岡県教職員太鼓研修会	(静岡県支部)	11月28日(日)	静岡県金谷町
北海道道西教職員太鼓研修会	(北海道道西支部)	日程、場所未定	

2004年度日本太鼓助成金交付事業を追加募集

日本財団からの2004年度助成額が決定し、その内日本太鼓助成金交付事業は、これまでの1事業20万円20事業から新たに教職員太鼓研修会15事業の増額が認められ1事業20万円35事業となりました。2004年度助成金申請のあった中から27事業は既に決定しております。残り8事業(一般事業1、教職員太鼓研修会7)について追加募集いたします。希望支部は、書類を整え、6月末までに当財団事務局宛に申請を行なって下さい。

アメリカ太鼓連盟・ブラジル太鼓協会が発足

我が国伝統文化の一つである日本太鼓を広く海外に紹介し、普及を図るため、海外の拠点づくりを進めておりましたが、アメリカ太鼓連盟(会長田中誠一氏 加盟36団体)が1月に、ブラジル太鼓協会(会長渡部一誠氏:サンパウロ大学教授・医学博士 加盟51団体)が2月にそれぞれ発足いたしました。アメリカ太鼓連盟は、過去2回当財団から米国へ太鼓チームと役員を派遣しての日米太鼓交流と太鼓会議の実施、並びにサンフランシスコ太鼓道場の代表であり、長年米国で日本太鼓の普及活動に努められている田中誠一氏(1級公認指導員)の多大なご尽力が実を結び、念願がかなったものであります。

ブラジル太鼓協会は、当財団福岡県前支部長の小田幸久氏が国際協力機構(JICA)のシニアボランティアとして2002年7月から2004年6月までブラジルに太鼓指導者として派遣され、その間協会設立にご尽力され発足しました。なお、二カ国とも現在NPO法人としての許可(税優措置等)を得るため、それぞれの当該政府当局に申請の手続きを行なっているところです。

各地のたより

当財団副会長・御諏訪太鼓保存会代表小口大八氏が、地元小学校で指導した模様が長野日報及び岡谷市民新聞に大きく掲載されました。

毎年長野県岡谷市で行なわれる「岡谷太鼓祭り」を見て太鼓に取り組み始めた児童達が、総合的な学習の時間に小口氏の指導で練習を重ね、今年2月に演奏会を開催しました。小口氏からバチさばきや打ち方、曲目を教わり、演奏会当日は、オープニングで「勇駒とんばね太鼓」を演奏しました。

児童達は、福祉施設などでの演奏を通して、自分達の演奏で人を喜ばせることができることを知り、自分達が楽しむ太鼓から、人を喜ばせる演奏への意識変化を見せています。



(長野日報)

事務局だより

第6回日本太鼓全国障害者大会・出場団体募集

期 日 2004年10月3日(日)
 会 場 諏訪市文化センター
 (長野県諏訪市湖岸通り5-12-18)
 開 演 13:00(終了予定17:00)
 入 場 無料(入場整理券有)
 出演団体 20団体程度を予定
 申込み締切 5月31日

各支部からの、積極的な障害者チームの推薦を期待しております。
 出演希望の団体は、当財団事務局までお問合せ下さい。

人事異動のお知らせ

昨年度より日本音楽財団から
 出向しておりました秋田稔事
 業課長が、4月1日付をもつ
 て当財団へ採用になりました。
 これにより、事務局は6名と
 なりました。
 より一層の事業活動を展開し
 ていきますので、よろしくお
 願いいたします。

2004年度事業に多くの方の参加を期待しております

当財団の2004年度主催事業等の開催期日が以下のとおりとなりました。多くの方の参加を期待しております。

5月21日(金)	第8回日本太鼓チャリティーコンサート(東京都港区・草月ホール)
5月29日(土) 30日(日)	第19回日本太鼓支部講習会(長野県諏訪市・諏訪市文化センター)
6月19日(土) 20日(日)	第20回日本太鼓全国講習会(京都府亀岡市・ギャラリーかめおか)
7月2日(金)	第7回代議員会(東京都品川区・船の科学館・羊蹄丸)
8月28日(土) 29日(日)	第20回日本太鼓支部講習会(富山県)
9月19日(日)	第8回日本太鼓全国フェスティバル(山形県天童市・天童市市民会館)
10月3日(日)	第6回日本太鼓全国障害者大会(長野県諏訪市・諏訪市文化センター)
10月30日(土) 31日(日)	第21回日本太鼓全国講習会(埼玉県嵐山町・ヌエック国立女性教育会館)
11月6日(土) 7日(日)	第21回日本太鼓支部講習会(北海道釧路市・観光国際交流センター)
11月20日(土) 21日(日)	第22回日本太鼓支部講習会(佐賀県佐賀市・佐賀市文化センター)
1月22日(土) 23日(日)	第23回日本太鼓支部講習会(山形県酒田市)
2月12日(土) 13日(日)	第22回日本太鼓全国講習会(鹿児島県牧園町・霧島国際音楽ホール)

2005年

3月20日(日) 第7回日本太鼓ジュニアコンクール(神奈川県横浜市・県民文化ホール)

*なお、詳細等につきましては、ホームページ(URL:<http://www.nippon-taikoo.or.jp>)をご覧ください。